

学 校 法 人 新 庄 学 園

新 庄 東 高 等 学 校

令和3年度

第2学年Tコース

教科目学習計画

～ 校 訓 ～

“自らの手で人生を開拓しよう”

それは努力によって

そして方法を考えて

すべて敬虔な態度で

教科	国語	科目	現代文 B	学年	2 (T)	単位数	2
使用教材	教科書：新編現代文 B (東京書籍)						
授業内容	「話すこと・聞くこと」を特に重視しながら、親しみやすい文章を読解する。 また、相手の考えを理解しながら、自分の意見を適切に伝えていく。						
到達目標	近代以降の読み取りやすい文章を着実に理解し、適切に表現する力を高める。 国語の基礎的・基本的な内容に「習熟」して、ものの見方、感じ方、考え方を深めながら、課題を見つけ取り組んでいける力を育てる。						
評価方法	以下の観点で各学期評価する。 各種テスト(80%) 平常点(授業の取組状況・課題)(20%) 関心・意欲・態度……………授業への取り組み 国語的な見方や考え方……………授業への取り組み・課題 表現……………授業への取り組み (授業での発表やまとめ)・各種テスト・課題 知識・理解……………各種テスト・課題						
その他							
授業計画							
学期	月	学習内容・単元等				時間数	評価
1 学期	4 月	○随想 広がる風景				2 0	上記の通り
	5 月						
	6 月	○小説 つながる心					
	7 月	○評論 考える手がかり					
		○各種テスト					
2 学期	8 月	○評論 現実の中で				2 9	上記の通り
	9 月						
	10 月	○小説 物語の楽しみ					
	11 月						
	12 月	○評論的随想 働くよろこび					
		○詩歌 イメージの世界					
		○各種テスト					
3 学期	1 月	○評論 具体と抽象				2 0	上記の通り
	2 月						
	3 月	○小説 心の奥へ					
		○各種テスト					
						6 9	

学習計画及び評価方法 等 ※評価の観点：a(関心・意欲・態度)，b(見方・考え方)，c(表現・処理)，d(知識・理解)

学期	学習計画	月	学習のねらい	備考：①学習活動の特記事項，②副教材使用等	調査範囲	評価の観点のポイント			
						a	b	c	D
第1学期	<p>○オリエンテーション</p> <p>○随想 広がる風景</p> <p>○小説 つながる心</p> <p>○評論 考える手がかり</p> <p>○各種テスト</p>	4 5 6 7	<p>○随想 広がる風景</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の流れをつかみ、具体事例を効果的に用いる随想の読解方法に親しむ。 <p>○小説 つながる心</p> <ul style="list-style-type: none"> 小説読解の基本である、場面や登場人物の言動に注意する姿勢を学ぶ。 短編小説の世界に親しむ。 <p>○評論 考える手がかり</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の具体と抽象からなる構成を捉え、筆者の考えをたどる。 	<p>教科書 P14～P20</p> <p>教科書 P24～P38</p> <p>教科書 P67～P73</p>	テスト	○	○	○	○
第二学期	<p>○評論 現実の中で</p> <p>○小説 物語の楽しみ</p> <p>○評論的随想 働くよろこび</p> <p>○詩歌 イメージの世界</p> <p>○各種テスト</p>	8 9 10 11 12	<p>○評論 現実の中で</p> <ul style="list-style-type: none"> 筆者の論理を着実に読み取る方法を身につける。 <p>○小説 物語の楽しみ</p> <ul style="list-style-type: none"> 小説を読んで登場人物の言動を理解するおもしろさを実感し、短編小説を読みとる方法を学ぶ。 <p>○評論的随想 働くよろこび</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の具体と抽象からなる構成を押さえ、筆者の論理をたどる。 <p>○近代詩・現代詩・俳句・短歌等に親しむ。</p>	<p>教科書 P123～P131</p> <p>教科書 P90～P103</p> <p>教科書 P178～P190</p> <p>教科書 P76～P88</p>	テスト	○	○	○	○
第三学期	<p>○評論 具体と抽象</p> <p>○小説 心の奥へ</p> <p>○各種テスト</p>	1 2 3	<p>○評論 具体と抽象</p> <ul style="list-style-type: none"> 筆者の論理をたどり、考えを適切に読み取る力を高めていく。 <p>○小説 心の奥へ</p> <ul style="list-style-type: none"> 近代を代表する小説を読解・味わう力を高めていく。 小説世界に自分も入り込むような態度を実感していく。 	<p>教科書 P58～P66</p> <p>教科書 P39～P54</p>	テスト	○	○	○	○

教科	国語	科目	古典 B	学年	2 (T)	単位数	2
使用教材	教科書：新編古典 B（東京書籍） 副教材：プリント						
授業内容	親しみやすい古典作品に触れながら、現代にも通じる感覚や感情、考え方を学び、その感想等を互いに発表したり表現して深め合う。						
到達目標	古文・漢文の基礎力を身につける。 日本人としての教養を育む。						
評価方法	以下の観点で各学期評価する。 各種テスト(80%) 平常点(授業の取組状況・課題)(20%) 関心・意欲・態度……………授業への取り組み 国語的な見方や考え方……………授業への取り組み・課題 表現……………授業への取り組み（授業での発表やまとめ）・各種テスト・課題 知識・理解……………各種テスト・課題						
その他							
授業計画							
学期	月	学習内容・単元等				時間数	評価
1 学期	4 月	○古文：説話に親しむ				2 0	上記の通り
	5 月	物語を読む					
	6 月	○漢文：故事と小話					
	7 月	唐詩と文					
		○テスト					
2 学期	8 月	○古文：随筆を読む				3 1	上記の通り
	9 月	和歌の世界					
	10 月	日記を読む					
	11 月	○漢文：史記を読む					
	12 月	寓話を読む					
		○テスト					
3 学期	1 月	○古文：軍記物語を味わう				1 7	上記の通り
	2 月	近世の紀行					
	3 月	○漢文：三国志の世界					
		○テスト					
						6 8	

学習計画及び評価方法 等 ※評価の観点：a(関心・意欲・態度)，b(見方・考え方)，c(表現・処理)，d(知識・理解)

学 期	学習計画	月	学習のねらい	備考：①学習活動の特記事項，②副教材使用 等	考 査 範 囲	評価の観点の ポイント			
						a	b	c	D
第 1 学 期	○オリエンテーション ○古文 ・説話に親しむ ○漢文 ・故事と小話 ・唐詩と文 ○各種テスト	4 5 6 7	○古文 ・1年で学習した内容を復習し、古文を読み、理解できるための基礎を学ぶ。 ・昔話を読み、その話の筋や中味のおもしろさが分かるようになる。 ・物語の内容を読み取ることができる。 ・敬語に親しむ。 ○漢文 ・1年で学習した内容を復習し、漢文を読み、理解できるための基礎を学ぶ。 ・親しみやすい文章を読み、話の内容を着実に理解することができる。 ・語句の意味に注意して、文章の内容をつかむことができる。	教科書 P10～ P16 教科書 P154～ P157	テ ス ト	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
第 二 学 期	○古文 ・随筆を読む ・和歌の世界 ・日記を読む ○漢文 ・史記を読む ○各種テスト	8 9 10 11 12	○古文 ・随筆を読み、その内容や作者の考えにふれる。 ・和歌に詠まれた情景や心情から古人の感性に触れる。 ・作者のおかれた環境や、日記に書かれたできごとから、作者の心情を思いやることができる。 ○漢文 ・人物の行動や心情、起こった出来事などがわかる。 ・四字熟語の意味について理解を深めることができる。	教科書 P28～ P60 教科書 P178～ P187	テ ス ト	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
第 三 学 期	○古文 ・軍記物語を味わう ・近世の紀行 ○漢文 ・三国志の世界 ○各種テスト	1 2 3	○古文 ・軍記物語を読み、登場人物の個性や生き方について感じとる。 ・紀行を読み、作者のものの見方や感じ方を追体験してみる。 ○漢文 ・十八史略を読み、登場人物の行動や心情と内容をイメージできる。	教科書 P62～ P78 教科書 P204～ P207	テ ス ト	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○

教科	地歴	科目	地理A	学年	2T	単位数	2
使用教材	教科書：高校生の地理A（帝国書院） 資料集：新詳高等地図（帝国書院）						
授業内容							
到達目標	事柄について自分なりの意見を持ち、根拠を持って伝えられるようになる。						
評価方法	以下の観点で各学期評価する。 平常点…授業での活発な意見交換、単元振り返りへの取り組み テスト 課題…提出期限厳守、内容 自己評価（ルーブリック評価）…自分の目標設定に対しての到達度評価						
その他							
授業計画							
学期	月	学習内容・単元等	時間数	評価			
1学期	4月	第1部 現代世界の特色と世界の諸地域の課題 1章 旅からとらえる現代社会		平常点 20%			
	5月	情報通信・交通 地球儀と地図 緯度と季節、時差 国家、領土問題 貿易 →テスト		テスト 40%			
	6月	テーマ探究活動① →レポート提出 プレゼンテーション 2章 世界の自然環境と文化 地形 気候 →テスト		課題 30%			
	7月	文化		自己評価 10%			
2学期	8月	テーマ探究活動② →レポート提出		平常点 20%			
	9月	プレゼンテーション 3章 世界の諸地域の生活文化 グループ活動、ジグソー法		テスト 40%			
	10月	(1) 中国、韓国、東南アジア →テスト (2) 中央・西アジア、アフリカ →テスト (3) ヨーロッパ、ロシア、アメリカ →テスト (4) アメリカ大陸、オセアニア →テスト		課題 30%			
	11月 12月	4章 地球規模で広がる課題 テーマ探究活動③ →プレゼンテーション 第2部 身近な地域の課題 1章 身近にある様々な地図		自己評価 10%			
3学期	1月	2章 日本の自然環境と防災 →テスト		平常点 20%			
	2月			テスト 40%			
	3月	SDGs学習		課題 30%			
				自己評価 10%			

時間別授業計画・評価方法 ※評価の観点：a(関心・意欲・態度), b(見方・考え方), c(表現・処理), d(知識・理解)

学 期	実施計画	月	学習のねらい	備考:① 学習活動の特 記事項, ②副教材使用 等	考 査 範 囲	評価の観点の ポイント			
						a	b	c	D
1 学 期	世界の国調べ さまざまな図法、地図に親しむ 緯度、経度を理解する 領土問題を考える 貿易と国家間の結びつきについて学習 する 大地形を学習する（語句を説明する） ケッペンの気候区分を学習する 1学期の学習内容で探究活動を行う	4	世界の国を把握する	②視聴 覚教材、 データ 資料な ど	P5~23	<input type="radio"/>			
		5	目的に応じた各種地図について学 ぶ 時差の計算、季節の変化の仕組み を理解する			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		6	世界で起きている地理的課題につ いて考え、意見を発表する			<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		7	地形を表す語句をイメージを持っ て説明できるようにする			<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 学 期	探究活動報告会 (1)～(4)に分けてグループごと に調べ学習をし、教科書の範囲内でそ の都度テストで内容理解を行う 2学期の学習内容で探究活動を行う	8	プレゼンテーション		P50~72 P74~90 P92~10 6 P108~1 26			<input type="radio"/>	
		9	諸地域の特徴を正確に捉え、ジグ ソー法でクラス全体の学習意欲を 高める。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		10							
		11							
3 学 期	防災についてこれまでの災害から自分 たちの地域について見直す SDG s についてテーマを選んで学習を する	1	防災教育、主権者教育をテーマに 主体的に学習をする			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
		2							
		3							

教科	数学	科目	数学Ⅱ	学年	2	単位数	4
使用教材	教科書：高等学校数学Ⅱ（数研出版） 副教材：REPEAT 数学Ⅱ（数研出版）						
授業内容	各単元で確認テストを行う。式と証明・複素数と方程式・図形と方程式・三角関数・指数対数関数・微分積分について学習する。グループ活動や、数学を活用した活動を積極的に取り入れる。						
到達目標	基礎基本の定着。性質や定理について理解し、活用できる力を身につける。						
評価方法	以下の観点で各学期評価する。 確認テスト・レポート（80%） 平常点【授業態度、課題、提出物】（20%） 関心・意欲・態度…授業態度、課題、提出物 数学的な見方や考え方…確認テスト 数学的な技能…確認テスト 知識・理解…確認テスト						
その他							
授業計画							
学期	月	学習内容・単元等	時間数	評価			
1学期	4月	スタディサポート・オリエンテーション	2	確認テスト			
	5月	1章 式と証明	20	導入テスト			
	6月	2章 複素数と方程式	20	課題、提出物			
	7月						
2学期	8月	3章 図形と方程式	22	導入テスト			
	9月		23	課題、提出物			
	10月	4章 三角関数					
	11月	5章 指数関数・対数関数	25				
	12月						
3学期	1月	6章 微分と積分	28	確認テスト			
	2月			導入テスト			
	3月			課題、提出物			
			140				

学期	実施計画	月	学習のねらい	備考：①学習活動の特記事項，②副教材使用等	考查範囲	評価の観点のポイント				
						a	b	c	d	
1 学期	スタディサポート オリエンテーション 1章 式と証明 1節 式と計算 ①整式の乗法と因数分解 ②二項定理 ③整式の除法 ④分数式とその計算 2章 複素数と方程式 1節 複素数と方程式の解 ①複素数とその計算 ②2次方程式の解 ③解と係数の関係 2節 高次方程式 ④剰余の定理と因数定理 ⑤高次方程式	4	3次の乗法公式及び因数分解の公式を理解する。 二項定理やその利用法を理解する。 整式の割り算の方法を理解する。	REPEAT					○	
		5	分数式の約分や四則計算の方法を理解する。		○	○	○		○	
		6	複素数の四則計算の方法を理解する。 2次方程式の解の方式を理解する。 2次方程式の解の判別の仕方を理解する。 2次方程式の解と係数の関係やその利用法を理解する。	REPET	○		○	○	○	
		7	剰余の定理やその利用法を理解する。 因数定理やその利用法を理解する。 高次方程式の解法を理解する。	REPEAT			○	○	○	
					○	○	○	○		
2 学期	3章 図形と方程式 1節 点と直線 ①数直線上の点 ②座標平面上の点 ③直線の方程式 ④2直線の関係 2節 円 ⑤円の方程式	8	数直線上の2点間の距離や内分点・外分点の座標を求めることができるようにする。 平面上の2点間の距離や内分点・外分点の座標を求めることができるようにする。 三角形の重心の座標を求めることができるようにする。 与えられた条件を満たす直線の方程式を求めることができるようにする。 直線の方程式の一般形について理解する。 2直線の平行条件・垂直条件やその適用の仕方を理解する。 点と直線の距離を求めることができるようにする。	REPET		○	○	○	○	
		9	数直線上の2点間の距離や内分点・外分点の座標を求めることができるようにする。 平面上の2点間の距離や内分点・外分点の座標を求めることができるようにする。 三角形の重心の座標を求めることができるようにする。 与えられた条件を満たす直線の方程式を求めることができるようにする。 直線の方程式の一般形について理解する。 2直線の平行条件・垂直条件やその適用の仕方を理解する。 点と直線の距離を求めることができるようにする。	REPET	○	○	○	○		
			与えられた条件を満たす円の方程式を求めることができるようにする。	REPET	○	○	○	○		

<p>⑥円と直線の位置関係 ⑦2つの円の位置関係 4章 三角関数</p> <p>1節 三角関数 ①一般角と弧度法</p> <p>②三角関数 ③三角関数の性質 5章 指数関数・対数関数</p> <p>1節 指数関数 ①整数の指数</p> <p>②累乗根 ③実数の指数 ④指数関数とそのグラフ 2節 対数関数</p> <p>⑤対数とその性質</p> <p>⑥対数関数とそのグラフ ⑦常用対数</p> <p>6章 微分と積分</p>	<p>円の方程式から中心と半径を求め、図示できるようにする。 円と直線の共有点の座標を求めるようにできるようにする。 円と直線の位置関係を調べる方法を理解する。 条件を満たす円の接線の方程式を求めることができるようにする。 2つの円の位置関係を調べる方法を理解する。</p>										
	<p>与えられた条件を満たす円の方程式を求めることができるようにする。 円の方程式から中心と半径を求め、図示できるようにする。 円と直線の共有点の座標を求めるようにできるようにする。 円と直線の位置関係を調べる方法を理解する。 条件を満たす円の接線の方程式を求めることができるようにする。 2つの円の位置関係を調べる方法を理解する。</p>	REPET							○ ○ ○ ○		
	<p>一般角について理解する。 弧度法による角の表し方を理解する。 扇形の弧の長さや面積を求めることができるようにする。 一般角の三角関数について理解する。 三角関数の相互関係や性質について理解する。</p>	REPEAT								○ ○	
	<p>一般角について理解する。 弧度法による角の表し方を理解する。 扇形の弧の長さや面積を求めることができるようにする。 一般角の三角関数について理解する。 三角関数の相互関係や性質について理解する。</p>	REPEAT								○ ○ ○ ○	
	<p>0や負の整数の指数について理解する。 累乗根の定義や性質及び累乗根を含む式の計算方法を理解する。 有理数の指数について理解する。 指数関数の性質を数の大小比較や方程式・不等式の解法に活用できるようにする。</p>	REPEAT								○ ○ ○	
	<p>0や負の整数の指数について理解する。 累乗根の定義や性質及び累乗根を含む式の計算方法を理解する。 有理数の指数について理解する。 指数関数の性質を数の大小比較や方程式・不等式の解法に活用できるようにする。</p>	REPEAT					○			○ ○ ○ ○ ○ ○	
	<p>対数の定義について理解する。 対数の性質や底の変換公式の利用法を理解する。 対数関数の性質を数の大小比較や方程式・不等式の解法に活用できるようにする。 常用対数及びその利用法を理解する。</p>	REPEAT					○			○ ○ ○	
	<p>対数の定義について理解する。 対数の性質や底の変換公式の利用法を理解する。 対数関数の性質を数の大小比較や方程式・不等式の解法に活用できるようにする。 常用対数及びその利用法を理解する。</p>	REPEAT								○ ○ ○ ○ ○ ○	

3 学 期	1 節 微分係数と導関数	1							
	①平均変化率と微分係数		平均変化率の定義について理解する。 極限值について理解する。 導関数を求めることができるようにする。 導関数を利用して、微分係数を求めることができるようにする。 与えられた条件を満たす接線の方程式を求めることができるようにする。	REPEAT		○		○	○
	②導関数 ③接線の方程式		平均変化率の定義について理解する。 極限值について理解する。 導関数を求めることができるようにする。 導関数を利用して、微分係数を求めることができるようにする。 与えられた条件を満たす接線の方程式を求めることができるようにする。	REPEAT		○	○	○	○
	3 節 積分法		不定積分を求めることができるようにする。 定積分を求めることができるようにする。 定積分と微分の関係について理解する。	REPEAT			○	○	○
	⑧不定積分		不定積分を求めることができるようにする。 定積分を求めることができるようにする。 定積分と微分の関係について理解する。	REPEAT		○	○	○	○
	⑨定積分								

教科	数学	科目	数学Ⅱ	学年	2	単位数	4
使用教材	教科書：高等学校数学Ⅱ（数研出版） 副教材：REPEAT 数学Ⅱ（数研出版）						
授業内容	各単元で確認テストを行う。中学校までに履修した内容や1年次に学んだ数学Ⅰ・Aの再確認をしながら、式と証明・複素数と方程式・図形と方程式まで扱う。三角関数・指数対数関数・微分積分については3年次に学習する。グループ活動や、数学を活用した活動を積極的に取り入れる。						
到達目標	基礎基本の定着。性質や定理について理解し、活用できる力を身につける。						
評価方法	以下の観点で各学期評価する。 確認テスト・レポート（80%） 平常点【授業態度、課題、提出物】（20%） 関心・意欲・態度…授業態度、課題、提出物 数学的な見方や考え方…確認テスト 数学的な技能…確認テスト 知識・理解…確認テスト						
その他							
授業計画							
学期	月	学習内容・単元等	時間数	評価			
1学期	4月	スタディサポート・オリエンテーション	2	確認テスト			
		第1章 式と証明		導入テスト			
		第1節 式と計算	25	課題、提出物			
	5月 6月 7月	第2節 等式・不等式の証明	15				
2学期	8月	第2章 複素数と方程式		導入テスト			
	9月	第1節 複素数と2次方程式の解	20	確認テスト			
	10月	第2節 高次方程式	25	課題、提出物			
	11月 12月	3章 図形と方程式 第1節 点と直線	25				
3学期	1月	第2節 円	18	確認テスト			
	2月	第3節 軌跡と領域	10	導入テスト			
	3月			課題、提出物			
			140				

学期	実施計画状況	月	学習のねらい	備考：①学習活動の特記事項，②副教材使用等	考查範囲	評価の観点のポイント			
						a	b	c	d
1 学期	スタディサポート オリエンテーション 1章 式と証明 1節 式と計算 ①整式の乗法と因数分解 ②二項定理 ③整式の除法 ④分数式とその計算 ⑤恒等式 2節 等式不等式の証明 ⑥等式の証明 ⑦不等式の証明	4							
		5	3次の乗法公式及び因数分解の公式を理解する。 二項定理やその利用法を理解する。 整式の割り算の方法を理解する。 分数式の約分や四則計算の方法を理解する。	REPEAT				○	
		6	恒等式の意味や等式が恒等式であるための条件を理解する。		○	○	○	○	
		7	等式を証明する方法を理解する。 不等式を証明する方法を理解する。 相加平均と相乗平均の大小関係について理解する。		○	○	○	○	
2 学期	2章 複素数と方程式 1節 複素数と方程式の解 ①複素数とその計算 ②2次方程式の解 ③解と係数の関係 2節 高次方程式 ④剰余の定理と因数定理 ⑤高次方程式	8	複素数の四則計算の方法を理解する。 2次方程式の解の方式を理解する。	REPEAT			○	○	
		9	2次方程式の解の判別の仕方を理解する。 2次方程式の解と係数の関係やその利用法を理解する。		○	○	○	○	
		10	剰余の定理やその利用法を理解する。 因数定理やその利用法を理解する。 高次方程式の解法を理解する。	REPEAT			○	○	○
	3章 図形と方程式 1節 点と直線 ①数直線上の点 ②座標平面上の点 ③直線の方程式 ④2直線の関係	11	数直線上の2点間の距離や内分点・外分点の座標を求めることができるようにする。 平面上の2点間の距離や内分点・外分点の座標を求めることができるようにする。 三角形の重心の座標を求めることができるようにする。	REPEAT		○	○	○	○
		12	与えられた条件を満たす直線の方程式を求めることができるようにする。 直線の方程式の一般形について理解する。 2直線の平行条件・垂直条件やその適用の仕方を理解する。 点と直線の距離を求めることができるようにする。		○	○	○	○	
								○	○

3 学 期	<p>2節 円</p> <p>⑤円の方程式</p> <p>⑥円と直線の位置関係</p> <p>⑦2つの円の位置関係</p>	<p>1</p> <p>与えられた条件を満たす円の方程式を求めることができるようにする。 円の方程式から中心と半径を求め、図示できるようにする。 円と直線の共有点の座標を求めるようにできるようにする。 円と直線の位置関係を調べる方法を理解する。 条件を満たす円の接線の方程式を求めることができるようにする。 2つの円の位置関係を調べる方法を理解する。</p> <p>2</p> <p>与えられた条件を満たす円の方程式を求めることができるようにする。 円の方程式から中心と半径を求め、図示できるようにする。 円と直線の共有点の座標を求めるようにできるようにする。 円と直線の位置関係を調べる方法を理解する。 条件を満たす円の接線の方程式を求めることができるようにする。 2つの円の位置関係を調べる方法を理解する。</p>	<p>REPEAT</p>	○	○	○	○
	<p>3節 軌跡と領域</p> <p>⑧軌跡と方程式</p> <p>⑨不等式の表す領域</p>	<p>3</p> <p>与えられた条件を満たす点の軌跡を求めることができるようにする。 不等式の表す領域を図示することができるようにする。 連立不等式の表す領域を図示することができるようにする。 領域を利用して1次式の最大値や最小値を求める方法を理解する。</p>	<p>REPEAT</p>	○	○	○	○
				○	○	○	○

教科	理科	科目	生物基礎	学年	2T	単位数	2	
使用教材	数研出版 改訂版 新編 生物基礎 数研出版 改訂版 新編 生物基礎 準拠ノート まとめと問題							
授業内容	グループワークを通して、他者の意見を尊重し、生物の概念を理解する。日常生活や社会とのかかわりについての問いへの自分なりの答えを導き出す。							
到達目標	日常生活や社会とのかかわりを考えるための必要な科学的素養を高める。生物学の概念を理解する。他者を尊重し、異なる意見に対して、寛容に受け入れることができる。							
評価方法	① 単元別小テスト ② レポート作成 ③ プレゼン 意欲や態度…授業や課題への取り組み 知識の定着…単元別小テスト 科学的表現…レポート プレゼン							
その他								
授業計画								
学期	月	学習内容・単元等	時間数	評価				
1 学期	4 月	オリエンテーション 第1編 生物と遺伝子 第1章 生物の特徴 第1節 生物の多様性と共通性	1 12	①②				
	5 月	第2節 エネルギーと代謝 第3節 光合成と呼吸 第2章 遺伝子とそのはたらき	12					
	6 月	第1節 遺伝情報と DNA						
	7 月	第2節 遺伝情報の発現						
2 学期	8 月	第3節 遺伝情報の分配 第2編 生物の体内環境の維持 第3章 生物の体内環境とその維持	17	①②				
	9 月	第1節 体内環境としての体液 第2節 腎臓と肝臓による調節						
	10 月	第3節 神経とホルモンによる調節						
	11 月	第4節 免疫 第3編 生物の多様性と生態系	10		①②			
	12 月	第4章 植生の多様性と分布 第1節 植生とその成り立ち 第2節 植生の移り変わり						
3 学期	1 月	第3節 気候とバイオーム 第5章 生態系とその保全	18	①②				
	2 月	第1節 生態系とその成り立ち 第2節 物質の循環とエネルギーの流れ						
	3 月	第3節 生態系のバランスと保全			①②			
			70					

学期	実施状況	月	学習のねらい	備考：①学習活動の特記事項，②副教材使用等	考查範囲	評価の観点のポイント			
						a	b	c	D
1 学期	オリエンテーション	4							
	第1編 生物と遺伝子								
	第1章 生物の特徴								
	第1節 生物の多様性と共通性			生物は多様でありながら、いくつかの共通性を持っていることを理解し、その由来を考える。さらに、細胞について詳しく理解する。	②p4,5	○	○	○	○
	第2節 エネルギーと代謝	5		生命活動を行なうために ATP のエネルギーを利用している。この ATP について正しく理解する。さらに、酵素のはたらきを理解する。	②p6,7	○	○	○	○
	第3節 光合成と呼吸			光合成と呼吸の学習を通して、生物が代謝によってエネルギーを取り出していることを学習する。さらに、代謝を行う細胞小器官の起源を理解する。	②p8,9	○	○	○	○
	章末テスト			定着した知識を表現することができることを確認する。また、テスト直しを通し、知識の定着を図る。	②p4~11		○	○	○
第2章 遺伝子とのはたらき									
第1節 遺伝情報とDNA	6		遺伝子の本体である DNA について構造を正しく理解する。さらに、遺伝情報はその塩基配列にあることを理解する。	②p12,13	○	○	○	○	
第2節 遺伝情報の発現	7		転写と翻訳の概要から、生命現象において重要なタンパク質合成について学習する。	②p14,15	○	○	○	○	
2 学期	第3節 遺伝情報の分配	8	遺伝情報は正確に複製されて受け継がれること、それぞれの細胞ではすべての遺伝子が発現しているわけではないことを理解する。	②p16,17	○	○	○	○	
	章末テスト		定着した知識を表現することができることを確認する。また、テスト直しを通し、知識の定着を図る。	②p12~19		○	○	○	
	第3章 生物の体内環境とその維持								
	第1節 体内環境としての体液	9	動物の体内の細胞にとって、体液は一種の環境(体内環境)であり、体内環境がいかんしてはぼ一定に保たれているのかを学習する。	②p20~23	○	○	○	○	
	第2節 腎臓と肝臓による調節			腎臓は体液の成分の濃度を一定に保ち、肝臓は体液の成分の濃度調節を行っている。これらの臓器の構造や機能を理解する。	②p24~27	○	○	○	○
	第3節 神経とホルモンによる調節	10.	動物の体内環境は、おもに自律神経系と内分泌系の2つが協調してはたらき、維持されている場合が多い。この2つの系を詳しく理解する。	②p28~33	○	○	○	○	
	第4節 免疫	11.	病原体などの異物からからだを守るために免疫とよばれるしくみが備わっている。このしくみを正しく理解する。	②p34~39	○	○	○	○	
	章末テスト		定着した知識を表現することができることを確認する。また、テスト直しを通し、知識の定着を図る。	②p20~41		○	○	○	
	第3編 生物の多様性と生態系								
	第4章 植生の多様性と分布								
第1節 植生とその成り立ち	12.	植生は相観によって分類され、その内部は階層構造が見られることなどの構造について、詳しく理解する。	②p42,43	○	○	○	○		
第2節 植生の移り変わり			植物の生育に伴う環境の変化などが要因となって、植生は時間とともに移り変わっていく。このような遷移とそのしくみについて理解する。	②p44,45	○	○	○	○	

3 学 期	第3節 気候とバイオーム	1	バイオームの分布には、主として気温と降水量が密接に関係していることを、世界と日本のバイオームを取り上げて理解する。	②p46～49		○	○	○	○
	章末テスト		定着した知識を表現することができることを確認する。また、テスト直しを通し、知識の定着を図る。	②p42～51			○	○	○
	第5章 生態系とその保全	2	生態系は、ある地域に生息するすべての生物と、生物を取り巻く非生物的環境からなる。生態系を構成する生物は互いにかかわりあって存在していることを理解する。	②p52,53		○	○	○	○
	第1節 生態系とその成り立ち								
	第2節 物質の循環とエネルギーの流れ				物質は生命活動のさまざまな過程を通じて、生態系の中を循環している。一方、エネルギーは生態系内を移動し、最終的に生態系外に放出されることを理解する。	②p54,55		○	○
第3節 生態系のバランスと保全	3	人類が生態系のバランスに大きな影響を与えていることなどを、身近な例から地球レベルの環境問題までを取り上げながら学習し、自然環境を保全することが大切であることを理解する。	②p56～59		○	○	○	○	
章末テスト		定着した知識を表現することができることを確認する。また、テスト直しを通し、知識の定着を図る。	②p52～61			○	○	○	

教科	保健体育	科目	体 育	学年	2T	単位数	2
使用教材	体育用具						
授業内容	実技						
到達目標	各種の基本動作を習得し、基本体力の向上をはかる。また、安全と事故防止に注意し、互いに協力し合って練習・競技・ゲームができるようにする。自分の健康・体力に関心を持ち進んで運動する習慣を養い、生涯にわたって運動に親しむ基礎をつくる。						
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業に積極的に参加し各種目の特性に関心を持ち取り組んでいるか。 2. 自分の能力に応じた目標や課題を持ち行っているか。 3. グループ練習やゲームで仲間と共に課題を持ち練習しているか。 4. パスなどの基本的な動作をスムーズに行うことができるか。 5. 各種目の特性、ルールを理解しているか。 						
その他							
授業計画							
学期	月	学習内容・単元等				時間数	評価
1 学期	4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション、整列 ・柔軟、補強運動 ・スポーツテスト 				4	実技テスト
	5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技 短距離走 走り高跳び (基礎練習、記録測定) 				5	
	6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・選択種目 (屋外) サッカー、ソフトテニス 				8	
	7 月	<ul style="list-style-type: none"> ソフトボール、グラウンドゴルフ 				5	
2 学期	8・9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・柔軟、補強運動 ・バレーボール 基礎練習 (パス、サーブ、スパイク) 				2	実技テスト
	10 月	<ul style="list-style-type: none"> ゲーム ・選択種目 (屋外) サッカー、ソフトテニス 				8	
	11 月	<ul style="list-style-type: none"> ソフトボール、グラウンドゴルフ ・バスケットボール 基礎練習 (パス、ドリブル、シュート)、ゲーム 				10	
	12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・選択種目 (屋内) フットサル バスケットボール バドミントン 卓球 				6	
3 学期	1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・マット運動 (屋内) ・スキー授業 (屋外) 				8	実技テスト
						18	
						64	

実施状況及び評価方法 等 ※評価の観点：a(関心・意欲・態度)，b(見方・考え方)，c(表現・処理)，d(知識・理解)

学期	実施状況	月	学習のねらい	備考：①学習活動の特記事項，②副教材使用 等	考查範囲	評価の観点のポイント			
						a	b	c	D
第1学期	総授業時間 [22]								
	柔軟・補強運動 [4]	4							
	スポーツテスト [5]								
	1 記録用紙の記入 長座体前屈 立ち幅跳び (1)					○		○	
	2 反復横跳び 上体起こし (1)					○		○	
	3 握力・背筋力 (1)					○		○	
	4 シャトルラン (1)					○		○	
	5 ハンドボール投げ (1)	5				○		○	
陸上競技 [8]	1 短距離走 (4)	6	30m・50m・70m・100mと距離を徐々に伸ばしていき、スタートダッシュ・腕振り・足の上げ方を分けて理解できるようにする。スタートブロックを使い自分に合った歩幅でクラウチングスタートを習得する。 距離毎に記録を測定し、目標設定記録に挑戦する。			○	○	○	○
	2 走り高跳び (3)		背面跳びの習得を目指し、空中姿勢・踏切・助走と分解練習を行う。 グループ毎にサーキット方式で練習を行い、お互いにフォームや踏切のタイミングを指摘し合いながら、より質の高い跳躍を目指す。 タブレットで跳躍の様子を撮影し、自らのフォームを客観的に見ることで、次回の改善に活かせるようにする。			○	○	○	○
	記録会 (1)	7	80cm から 5cm ずつ上げていき、目標設定記録に挑戦する。			○	○	○	○
	選択種目 [5]		サッカー・ソフトテニス・ソフトボール・グランドゴルフ			○	○	○	○
	総授業時間 [34]								
第2学期	柔軟・補強運動 [2]								
	1 10分間走 (2)	8	長期休業中に運動をしていなかった生徒も多いので、急な運動で怪我などをしないように、徐々に慣らしていく。			○		○	
	バレーボール [8]								
	1 アンダーハンド オーバーハンドの基礎 (2)	9	ゲームで活かせるように、アンダーハンド・オーバーハンドの基礎を習得する。また、苦手生徒には経験者が教え、全員の目標達成を目指す。			○	○	○	○
	2 スパイク サーブの基礎 (2)	10	3段攻撃がゲームで出来るように、サーブからのレシーブ→トス→スパイクの流れを全員が習得できるようにする。			○	○	○	○
	3 チーム練習 ゲーム (7)		基礎練習で習得したことを活かし、ゲームを出来るようにする。 ゲームで出た課題を次回の授業でチーム毎に練習し、改善できるようにする。			○	○	○	○

	4 アンダーハンド オーバーハンドのテスト (1)		単元のまとめとして基礎スキルの習得を確認する。直上パスを何秒間出来るかを測定する。			○	○	○	○
	選択種目 [8]		サッカー・ソフトテニス・ソフトボール・グランドゴルフ			○	○	○	○
	バスケットボール [10]								
	1 ゴール下シュート レイアップシュートの 基礎練習 (2)	11	テスト項目でありゲームで一番の得点源である、シュート練習を通し、ゲームで活かせる技術を身につける。			○		○	
	2 チーム練習 ゲーム (9)		基礎練習で習得したことを活かし、ゲームを出来るようにする。 ゲームで出た課題を次回の授業でチーム毎に練習し、改善できるようにする。			○	○	○	○
	3 ゴール下シュート レイアップシュートの テスト (1)	12	単元のまとめとして基礎スキルの習得を確認する。20秒ゴール下シュートとレイアップシュート(左右)			○	○	○	○
	選択種目 [6]		サッカー・ソフトテニス・ソフトボール・グランドゴルフ			○	○	○	○
第3 学期	総授業時間 [26]								
	マット運動 [8]	1	回転運動の基礎スキルの習得を確認する。			○	○	○	○
	スキー授業 [18]	2	安全にスキーをコントロールする技術を確認する			○	○	○	○

教科	保健体育	科目	保 健	学年	2年	単位数	1
使用教材	現代高等保健体育（大修館） 現代高等保健体育ノート（大修館）						
授業内容	生涯を通じる健康 社会生活と健康						
到達目標	思春期から中高年期までの健康に関わることがらや、それぞれのライフステージで必要になる保健・医療サービスの活用のしかたなどについて学習します。また、環境・食品の問題や、働くことと健康との関係について学習します。						
評価方法	1. 意欲的に学習に取り組んでいるか。（発表、態度） 2. 提出物が出されているか。（ノート、プリント） 3. 授業での学習が理解できているか。（まとめテスト）						
その他							
授業計画							
学期	月	学習内容・単元等				時間数	評価
1 学期	4 月	・オリエンテーション ～保健編1～「現代社会と健康」				1 2	まとめ テスト
	5 月	2 2. 応急手当の意義とその基本 2 3. 心肺蘇生法					
		2 4. 日常的な応急手当 ～保健編2～「生涯を通じる健康」					
	6 月	1. 思春期と健康 2. 性意識と性行動の選択					
7 月	3. 結婚生活と健康 4. 妊娠・出産と健康 ★まとめテスト① ★答案返却・解説 5. 家族計画と人工妊娠中絶 ・DVD「思春期と性」「性感染症・エイズ予防」						
2 学期	8・9 月	6. 加齢と健康 7. 高齢者のための社会的取り組み 8. 保健制度とその活用 9. 医療制度とその活用				1 3	まとめ テスト
	10 月	1 0. 医薬品と健康 1 1. 様々な保健活動や対策 クロスワード2 ★まとめテスト② ★答案返却・解説					
		～保健編3～「社会生活と健康」					
	11 月	1. 大気汚染と健康 2. 水質汚濁・土壌汚染と健康					
12 月	3. 健康被害の防止と環境対策 4. 環境衛生活動のしくみと働き						

3学期	1月	5. 食品衛生活動のしくみと働き	9	まとめ テスト レポー ト
	2月	6. 食品と環境の保健と私たち 7. 働くことと健康 クロスワード2		
	3月	★まとめテスト③ ★答案返却・解説 オリンピックに関する レポート		
			34	

学期	実施状況	月	学習のねらい	備考：①学習活動の特記事項，②副教材使用等	考查範囲	評価の観点のポイント			
						a	b	c	D
1 学期	【総授業時間 12h】 ・オリエンテーション(1) ～保健編1～ 現代社会と健康(3) 22 応急手当の意義とその基本 23 心肺蘇生法 24 日常的な応急手当 ～保健編2～ 生涯を通じる健康(12) 1 思春期と健康 2 性意識と性行動の選択 3 結婚生活と健康 4 妊娠・出産と健康 まとめテスト①(1) テスト返却・解答・解説(1) 5 家族計画と人工妊娠中絶 ・DVD「思春期と性」「性感染症・エイズ予防」 6 加齢と健康	4	今年度の授業計画、進め方、評価方法について	教科書 保健ノート プリント					
			応急手当の意義を学び、ケガや急病人を発見した際に自分に出来ることや、手当の基本的な手順を把握する。		○	○	○	○	
			心肺蘇生法の習得を目指し、同時に心肺蘇生法に関心を持ち正しい技術を支える根拠となる原理を理解させる。		○	○	○	○	
		5	応急手当の知識を学び、理解を深める。また、熱中症に関して適切な判断と応急手当や予防の必要性を理解させる。		○	○	○	○	
			思春期の特徴について、体と心の面から理解させる。精神的には不安定になる場合があること理解させる。		○	○	○	○	
			性意識に関する男女の特性をふまえ異性を尊重する態度を育む。性に対する情報に適切に対処して行動できるようにする		○	○	○	○	
		6	健康な結婚生活を送るためには、心身の発達や、本人・家族の健康が大きく影響することを理解させる。		○	○	○	○	
			受精・妊娠・出産の一連の過程を理解し、胎児や母親の心身の健康問題、予防や健康のための支援について理解させる。 ☆保健編1 22～24、保健編2 1～4		○	○	○	○	
			家族計画の意義や方法を理解し、お互いのコミュニケーションの重要性とともに適切な意思決定ができるようにする。	7		○	○	○	○
			加齢にともなう心身の変化を形態面と機能面から学ぶ。生活習慣の重要性を理解させる。			○	○	○	○
2 学期	【総授業時間 13h】 7 高齢者のための社会的 取り組み	8	高齢者の健康課題とその支援、誰にとっても健康で安心して暮らせるための取り組みについて理解する	教科書 保健ノート プリント		○	○	○	○

<p>8 保健制度とその活用</p> <p>9 医療制度とその活用</p> <p>10 医薬品と健康</p> <p>11 様々な保健活動や対策</p> <p>クロスワード2 (1)</p> <p>まとめテスト② (1) テスト返却・解答・解説 (1) ～保健編3～ 「社会生活と健康」 (7)</p> <p>1 大気汚染と健康</p> <p>2 水質汚濁・土壌汚染と健康</p> <p>3 健康被害の防止と環境対策</p> <p>4 環境衛生活動のしくみと働き</p>	<p>9 病気の予防や健康の保持増進のために、どのような保健に関する活動や保健サービスが行われているか理解する。 さまざまな医療制度があるが、それぞれの制度の特徴や、医療サービスを活用するために留意したらよいか理解する。 病気やけがの治療や予防のために医薬品を使用しているが、正しい使用法やどんなことに留意したらよいか理解する。</p> <p>10 私たちの健康は様々な保健活動や対策により支えられているが、国や世界大会での保健活動について理解する。 保健編2 生涯を通じる健康 復習を兼ねて仲間と協力しながら行う。 ★保健編2 5～11</p> <p>12 大気汚染の原因や健康被害について、また、地球規模で起こっている環境問題について理解する。 水質汚濁・土壌汚染の原因や健康被害について、大気・水・土壌が密接に関連していることについて理解する。 環境汚染による健康被害を防ぐための社会的な対策や取り組み、私たちができることは何かを理解する。 ごみの処理や、上下水道の整備は健康的に日常生活を送るためには不可欠であり、そのしくみや活動について理解する。</p>		○	○	○	○
<p>3 学期</p> <p>【総授業時間 9h】</p> <p>5 食品衛生活動のしくみと働き</p> <p>6 食品と環境の保健と私たち</p> <p>7 働くことと健康</p> <p>クロスワード2 (1)</p> <p>まとめテスト (1) テスト返却・解答・解説 (1) ～体育編～ オリンピックに関するレポート説明・作成 (3)</p>	<p>1 食品の生産・製造～私たちに届くまでにどのような衛生管理や安全対策が行われているかを理解する。 安全な食品の確保、環境を汚染しないこと、私たち自身どのような役割が求められるかを理解する。</p> <p>2 働くことは生活の糧を得る、能力・可能性を広げることにつながるが、健康を損なう可能性もあることについて理解する。 保健編3 生涯を通じる健康 復習を兼ねて仲間と協力しながら行う。</p> <p>3 ☆保健編3 1～7</p> <p>東京オリンピックの各競技の結果を中心に調べ、多くの人に見てもらえるよう工夫しレポートを作成する。</p>	教科書 保健ノート プリント	○	○	○	○

教科	英語	科目	コミュニケーション英語Ⅱ	学年	2T	単位数	2
使用教材	Revised COMET English Communication II スタディープログラム ワークブック 英語② COMET 英単語						
授業内容	ワークブックをベースとし、種々の英語表現方法を習得する。また、それらを実際に使った表現活動を行う。						
到達目標	聞く・読む・書く・話すための言語材料を習得し、実際的なリスニングや読解、表現、スピーキングに必要なスキルを身につける。短い英文による日常的なコミュニケーションがとれるようになる。 英検3級レベルの実力をつける。						
評価方法	①テスト(学習内容に関するテスト、パフォーマンステスト等)				80%		
	②授業への取り組み(授業態度、小テスト等)				20%		
その他							
授業計画							
学期	月	学習内容・単元等			時間数	評価	
1 学期	4 月	Unit 11 関係代名詞 (復習) Unit 12 関係副詞 Unit 13 比較 (復習) Unit 14,15 COMET Lesson 2 Unit 16 不定詞・分詞・分詞構文 Unit 18 仮定法 Unit 19, 20			20	スタプロワーク① テスト① テスト②	
	5 月						
	6 月						
	7 月						
	7 月						
2 学期	8 月	Unit 16 不定詞・分詞・分詞構文 (復習) Unit 18 仮定法 (復習)			30	テスト③	
	9 月	Unit 17 関係代名詞・関係副詞 COMET Lesson 8					
	10 月	Unit 21 受動態 Unit 22 接続詞					
	11 月	Unit 23 一致 Unit 24,25					
	12 月	COMET Activity 1,2 COMET Lesson 12					
	12 月						
3 学期	1 月	Unit 21 受動態 (復習) Unit 23 一致 (復習)			10	テスト⑤	
	2 月	COMET Reading 2 Unit 26 特殊構文・無生物主語					
	3 月	Unit 27 否定と疑問・命令法					
					60		

1 時間別授業計画・評価方法 ※評価の観点：a(関心・意欲・態度), b(見方・考え方), c(表現・処理), d(知識・理解)

学 期	実施状況	月	学習のねらい	備考： ①学習活動の 特記事項 ②副教材使用 等	考 査 内 容	評価の観点の ポイント			
						a	b	c	d
1 学 期	Unit 11	4	・関係詞の制限用法, what, 形式主語と形式目的語, either と neither を理解する。		テスト①	○	○	◎	◎
	Unit 12		・関係副詞の制限用法と副詞について理解する。			○	○	◎	◎
	Unit 13	5	・原級・比較級・最上級を理解する。			○	○	◎	◎
	Unit 14,15		・集合名詞、抽象名詞、物質名詞、形容詞、使役動詞、過去完了を使った文章を理解する。 ・聞いたり読んだりした内容の概要や詳細情報を理解できるようにする。			○	○	◎	◎
	COMET Lesson 2	6	・want など+(人)+to 不定詞の文を理解し、活用する。 ・相手の情報・意見を聞く表現を活用する。 ・日本のアニメやマンガが海外で受け入れられている理由を読み取る。			○	◎	◎	◎
	Unit 16		・分詞・動名詞・不定詞を理解する。 ・分詞構文と使った文を読む。			○	○	◎	◎
	Unit 18	7	・仮定法過去・仮定法過去完了を理解する。			○	○	◎	◎
Unit 19,20	・聞いたり読んだりした内容の概要や詳細情報を理解できる。目的や状況に応じた内容を英語で書ける。目的や状況に応じた内容を英語でやり取りできる。		◎	○	◎	◎			
2 学 期	Unit 16 Unit 18	8	・スタプロテストに向けて1学期の復習をする。		テスト③	○	○	◎	◎
	Unit 17	9	・関係詞の非制限用法・複合関係代名詞を理解する。			○	◎	○	◎
	COMET Lesson 8		・使役動詞を理解し、活用する。 ・相手の考えを聞く表現を活用する。 ・具体例をもとに、外国人から見た日本の良い点・悪い点について知る。			○	○	◎	◎
	Unit 21	10	・受動態を理解する。			○	○	◎	◎
	Unit 22		・等位接続詞・従位接続詞を正しく理解し、活用する。			○	○	◎	◎
	Unit 23	11	・一致(話法)を理解する。			○	○	◎	◎
	Unit 24,25		・聞いたり読んだりした内容の概要や詳細情報を理解できる。目的や状況に応じた内容を英語で書ける。目的や状況に応じた内容を英語でやり取りできる。			◎	○	◎	◎
	COMET Activity 1 COMET Activity 2	12	・ファーストフード店での注文の場面でのやり取りができる。 ・自分の意見を書いて発表できる。			◎	○	◎	◎
COMET Lesson 12	・仮定法過去・仮定法過去完了を使った文を読み、理解する。 ・人に情報を伝える表現を活用する。 ・世界中で使われている日本製品について知る。		○	○	◎	◎			

3 学 期	Unit 21 Unit 23	1	・スタプロテストに向けて2学期の復習をする。			○	○	◎	◎
	COMET Reading 2	2	・体験談を読み、東日本大震災発生時、高校生はどう行動し、何を感じたのかを読み取って、防災について考える。						
	Unit 26		・特殊構文・無生物主語を理解する。			◎	○	○	◎
	Unit 27	3	・否定と疑問文を正しく理解する。 ・命令法の用法を理解する。						

教科	英語	科目	講座 B	学年	2S	単位数	2
使用教材	COMET 英単語 システム英単語 Basic Evergreen 英和辞書・和英辞書						
授業内容	①ニュースリスニング・リーディング ②世界の国々について調べ、まとめる →英語でのプレゼンテーション（国の概要，観光 PR など）						
到達目標	世界の国々の文化やそこに暮らす人々の生活に興味を持ち、社会への関心を高める。 調べたことを英語でまとめ、プレゼンテーションを行う。						
評価方法	プレゼンテーション（発表＋質問への対応） 50% 発表者への質問 20% 提出物，計画性等 30%						
その他							
授業計画							
学期	月	学習内容・単元等				時間数	評価
1)4～7月 2)8～10月 3)11～3月		①CNN ニュースを使ったリスニング・リーディング（毎回） ②担当国の調べ学習 ③まとめ ④発表 ⑤振り返り				18	上記の通り
						合計 18	

時間別授業計画・評価方法 ※評価の観点：a(関心・意欲・態度)，b(見方・考え方)，c(表現・処理)，d(知識・理解)

学期	実施状況	月	学習のねらい	備考： ①学習活動の特記事項 ②副教材使用等	考査内容	評価の観点のポイント			
						a	b	c	d
	①ニュースリスニング・リーディング（毎回） ②担当国の調べ学習 ③まとめ ④発表 ⑤振り返り		①・実際にテレビで放送されている「生きた」英語を素材にしたリスニングに挑戦する。 ・時事に即した社会的な問題に触れ、考える。 ②・適切な情報の取捨選択ができる。 ③・聞く人を意識して、わかりやすい英語でまとめる。 ④・必要な写真等の資料を提示したり、ジェスチャーを使ったりしながら、魅力的に伝える。 ⑤・自己評価をし、課題を見つける。			◎	◎	○	○
						◎	◎	○	◎
						◎	○	◎	◎
						◎	○	◎	○
						◎	○	◎	○

教科	英語	科目	講座 C	学年	2S	単位数	2
使用教材	NEW FAVORIT English Expression I						
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・洋楽を聴き、発音、リスニング能力向上のトレーニング ・英語の歌詞や詩を理解することにより実践的な種々の表現方法を学ぶ。 						
到達目標	英検レベルの1ランクアップ						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・月例テスト 50% ・授業への取り組み 50% 						
その他							
授業計画							
学期	月	学習内容・単元等				時間数	評価
		課題曲① ・リスニング ・デクテーション ・歌詞の翻訳 課題曲② ・リスニング ・デクテーション ・歌詞の翻訳 課題曲③ ・リスニング ・デクテーション ・歌詞の翻訳 成果発表				5 5 5 3	上記内容
						合計 18	

時間別授業計画・評価方法 ※評価の観点：a(関心・意欲・態度)，b(見方・考え方)，c(表現・処理)，d(知識・理解)

学 期	実施状況	月	学習のねらい	備考： ①学習活動の特記事項 ②副教材使用等	考 査 内 容	評価の観点の ポイント			
						a	b	c	d
	①課題曲のリスニング、デクテーション		①・課題洋楽を繰り返しリスニングしながら、どのような単語が使われているか考える。 ・ネイティブの発音を学ぶ。			○	○		
	②翻訳		②歌詞の翻訳に挑戦し、作者の意図を理解する。			○	○		○
	③まとめ		③日本語と英語の表現方法、文化の違いを学ぶ。				○	○	○
	④発表		④歌詞の翻訳または歌の発表をする。			○	○		

教科	英語	科目	講座 D	学年	2S	単位数	2
使用教材	ヒビスピ COMET 英単語 / システム英単語 Basic Evergreen						
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・映画を観て、実践的な会話表現を学ぶ。 ・映画を通して、海外の文化と、それが語られる文脈、また現代社会で取り扱われている話題について学ぶ。 						
到達目標	同時代に生きている人たちの考え方に触れ、社会への関心を高める。 英検レベルの1ランクアップ						
評価方法	映画の会話文を模したスピーキングテスト 80% 授業への関心・意欲、提出物 20%						
その他							

授業計画

学期	月	学習内容・単元等	時間数	評価
		課題の映画① <ul style="list-style-type: none"> ・映画鑑賞 ・内容の要約と日本(または世代)の文化や文脈との比較研究「なぜ？」を見つける。 ・会話で使われた表現を学び、理解、習得する。 	5	
		課題の映画② <ul style="list-style-type: none"> ・映画鑑賞 ・内容の要約と日本(または世代)の文化や文脈との比較研究「なぜ？」を見つける。 ・会話で使われた表現を学び、理解、習得する。 	5	
		課題の映画③ <ul style="list-style-type: none"> ・映画鑑賞 ・内容の要約と日本(または世代)の文化や文脈との比較研究「なぜ？」を見つける。 ・会話で使われた表現を学び、理解、習得する。 	5	
		予備	3	
			合計 18	

時間別授業計画・評価方法 ※評価の観点：a(関心・意欲・態度)，b(見方・考え方)，c(表現・処理)，d(知識・理解)

学 期	実施状況	月	学習のねらい	備考： ①学習活動の特記事項 ②副教材使用等	考 査 内 容	評価の観点の ポイント			
						a	b	c	d
	<ul style="list-style-type: none"> ・映画鑑賞 ・内容の要約と日本(または世代)の文化や文脈との比較研究 「なぜ？」を見つける。 ・会話で使われた表現を学び、理解、習得する。 		<p>先入観なしに映画を楽しむ。</p> <p>①プリントを使いながら、各個人でストーリーを要約し、日本や身近な文化や考え方と似ているところと違うところを先入観なしに見つける。</p> <p>②グループでお互いが見つけたものを基に、意見を交換し見識を広げる。</p> <p>③全体で意見交換</p> <p>④映画が作られた背景や意味をインタビューや歴史資料から学び、事実を基にそれぞれの意見を整理する。</p> <p>①会話でよく使われる表現を、シチュエーションをイメージしながら練習、習得する。</p> <p>②文法事項や新しい単語があれば確認、類似表現も学ぶ。</p>			◎	◎		○
						◎	◎	◎	◎
						◎	◎	◎	◎
						◎	◎	◎	◎
						◎	○	◎	◎
						◎	◎	◎	◎

教科	家庭	科目	家庭総合	学年	2T	単位数	2
使用教材	家庭総合教科書 他プリント類						
授業内容	教室での座学や実験実習を通して知識に偏らず、生活技術の習得を目指す。						
到達目標	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活等に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。						
評価方法	評価基準全体（単元テスト・課題制作・実験実習・プリント提出） 1) 関心・意欲・態度 2) 思考・判断・表現 3) 技能 4) 知識・理解						
その他							
授業計画							
学期	月	学習内容・単元等				時間数	評価
1学期	4月	青年期の自立と家族				24	レポート 単元テスト
	5月	高齢期の生活					
	6月	学んだことを活かそう (ホームプロジェクト)					
	7月						
2学期	8月	衣生活と自立				24	課題制作・実験実習 単元テスト・実技テスト
	9月	なぜ服を着るのか					
	10月	衣服材料と構成					
	11月	エプロン製作					
	12月	これからの衣生活					
		食生活と自立 食生活を見つめよう 栄養素と食品 (実験実習・基礎調理実習)					
3学期	1月	安全・安心な食品を選ぼう				22	単元テスト
	2月	消費生活と環境					
	3月						
					70		

時間別授業計画・評価方法 ※評価の観点：a(関心・意欲・態度)，b(見方・考え方)，c(表現・処理)，d(知識・理解)

学期	実施状況	月	学習のねらい	備考：①学習活動の特記事項，②副教材使用等	考查範囲	評価の観点のポイント			
						a	b	c	d
1	人の一生 一生のなかの青年期 青年期の自立と共生 職業の選択 (5)	4	生涯発達の視点から各ライフステージの特徴・課題とそれに対応した意思決定の必要性について理解する 青年期の自立について考え、男女の役割について理解する 将来を見通した職業観を身につける	①学習プリント	学習プリント	○	○	○	○
	家族・家庭の役割 社会の中の家族 男女で社会を築く 法律の中の家族 (5)	5	家族とは何か、様々な視点から考えて価値観を築く			○	○	○	○
	高齢期の心身の特徴 高齢者の健康と生活 超高齢社会の特徴 介護保険生徒と公的年金制度 (4)	6 7	日本の高齢化の特徴を知り、高齢者福祉の現状と課題について理解する	①学習プリント		○	○	○	○
2	衣類制作 (15)	8 10	基本的な衣類制作の技術を習得する	①エプロンキット		○	○	○	
	衣服の機能 衣服の購入の選択 衣類の手入れと保管 衣類を取り巻く環境 (8)	11	状況に合わせた衣類選択の大切さを理解し、社会生活に活かすことができる 資源の有効活用の観点から購入・活用・手入れ・再利用・廃棄まで考えた被服計画をたてる	①学習プリント ②献立作成ソフト		○	○	○	○
	食事の持つ機能 現代の食生活の課題 栄養素のはたらき (10)	11 12	日常用いられる食品の栄養的特質、調理上の性質について科学的視点から理解する			○	○	○	○
	食品の選択と保存 献立を立てよう 食の安全と基礎調理 (12)	12	現代の食生活における食の安全に関する基礎的な知識を身につける 調理の基本的な技術を身につけ、健康、安全を考えた調理ができるようになる			○	○	○	○
3	食文化の継承 食料自給率と食育 (5)	1	食生活と環境の関わりについて科学的に考える			○	○	○	○
	私たちの消費生活 消費者問題の現状と課題 家計を計画的に管理しよう (6)	2	消費行動への意思決定要因を理解する 家計管理について具体的な事例を通してシミュレーションことができる 税金の仕組みを知り、納税の大切さを知る	①学習プリント		○	○	○	○